

# 2022年度 法科大学院

## 第4期入学試験問題

1 時限

憲法

(論文式)

試験時間 50 分

### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## [憲法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

A県知事だったYは、知事在職中の4年間、宗教法人靖国神社の挙行した春季・秋季の「例大祭」に際して「玉串料」を計9回各5000円、同神社が毎年7月中旬に挙行した「みたま祭」に際して「献灯料」を計4回各7000円ないし8000円、宗教法人A県護国神社が挙行した春季・秋季の「慰霊大祭」に際して「供物料」をやはり計9回各1万円、すべて県の公費から支出した。

これに対して、2002年に改正される前の地方自治法第242条の2第1項第4号に基づいて、A県の住民Xらが、Yを相手どり、上記の支出が憲法第20条第3項及び第89条違反であることを理由として、Yが相当額をA県に支払うことを求める住民訴訟を提起した。

### 設問

判例の立場を踏まえながら、この違憲主張に関するあなた自身の見解を述べなさい。